

## 世界各国のブレイン・イニシアティブが足並みを揃えて前進



正面左から: Prof Andrew Holmes, Prof Linda Richards, Dr Caroline Montojo, Dr Christoph Ebell, Prof Rafael Yuste, Prof Shigeo Okabe, Prof Sung-Jin Jeong, Prof Hideyuki Okano and Dr James Deshler.

キャンベラで開催されたオーストラリア科学院主催の「世界主要脳プロジェクト代表者会議」は、国際ブレイン・イニシアティブを推進することを宣言した。

日本 (<http://brainminds.jp/en/>)、韓国 ([http://www.kbri.re.kr/new/pages\\_eng/main/](http://www.kbri.re.kr/new/pages_eng/main/))、ヨーロッパ (<https://www.humanbrainproject.eu/en/follow-hbp/news/worlds-brain-initiatives-move-forward-together/>)、米国 (<http://www.kavlifoundation.org/international-brain-initiative>)、そしてオーストラリア (<https://www.science.org.au/news-and-events/news-and-media-releases/worlds-brain-initiatives-move-forward-together>) 各国の研究代表者によってなされたこの宣言は、脳が使う「暗号」解読の研究加速を目指す。

各国のブレイン・イニシアティブの研究者はこの取組が壮大かつ複雑であること、公的機関や民間企業からの前例のない努力と資源を注ぎ込んでも、もはや単一のイニシアティブでは脳をより深く理解するための課題を解決できないことを認識している、と宣言は述べている。

オーストラリア科学院長アンドリュー・ホームズ (Andrew Holmes) 教授は国際ブレイン・イニシアティブの発表は科学院長就任以来最も興奮した出来事だ、と語る。「脳科学研究におけるより強力な協力体制を目指した国際的な取組を目の当たりにし非常に喜ばしく思っている。科学とはこうあるべきだ」

現在の加盟国以外の国や地域からの取組に関しても、この国際ブレイン・イニシアティブへの参加が望まれる。

第一回国際ブレイン・イニシアティブ運営委員会は 2018 年の 1 月に開催予定である。

国際ブレイン・イニシアティブ設立に関するキャンベラ宣言の和訳全文は本ページ下、英語原文は以下のリンクから読むことができる。

<https://www.brainalliance.org.au/learn/media-releases/worlds-brain-initiatives-move-forward-together/>

2017 年 12 月 7 日

## 国際協力によって脳を理解する

### 国際ブレイン・イニシアティブ設立に関する声明

キャンベラで開催されたオーストラリア科学院主催の脳科学ワークショップ「The Brains at the Dome」において、オーストラリア、日本、韓国、ヨーロッパ、アメリカ各国のブレイン・イニシアティブの代表者は以下を宣言する。

・国際ブレイン・イニシアティブは、これが壮大かつ複雑な取組であり、公的機関や民間企業からの前例のない労力と資源をつぎ込んだとしても、もはや単一のブレイン・イニシアティブでは脳の計測やマッピング、イメージング、モデル化やシミュレーション、脳の理解と模倣、脳疾患の診断・治療といった課題を解決できないことを認識している。

－そのため我々イニシアティブは、各国研究プロジェクトの効率および連携の影響を最大にする努力を活用し調整するべく、各国研究プロジェクトの努力と資源と期待される成果を評価するための協定を結ぶ。

・我々イニシアティブは、政府、学界、産業、市民-特に患者や経営者-といったステークホルダーと内外で協力してプロジェクトに取り組む事により、初めて社会に大きな影響を及ぼすことができると認識している。また、イニシアティブには、世の中の発展に関与し貢献していくミッションがあることを理解している。

－したがって我々イニシアティブは、ステークホルダーと共に活動し、彼らと緊密に連携しながら、適切な方法や活動を確立することを約束する。

・我々イニシアティブは、データ量・データ共有・データサイエンスといった課題が、各国のイニシアティブさらには他の科学領域や産業界を含むより広いコミュニティに共通の課題であることを認識している。

－我々イニシアティブは、既存の方法を可能な限り利用し、また必要に応じて新しい方法を開発して、利便性のあるデータ共有と標準化の仕組みを探求し実装する。

・我々イニシアティブは、市民、政策立案者およびさまざまなコミュニティが脳データの収集、神経科学技術、人工知能の大幅な発展に今まで以上に直面している現状において、（神経）倫理が重要な懸念事項であることを認識している。

－したがって、我々イニシアティブは、神経倫理、政府機関、データ管理責任、および脳のプライバシー保護の分野で協力することを約束する。また、市民、患者、および関連するすべてのコミュニティとの有意義な対話を行い、その懸念を理解し、発生する機会と課題について透明性を確保する。

これらの初期目標を達成するために、我々イニシアティブは、既に合意されたロードマップを推進し、より多くのステークホルダーを取り込み、連携促進に必要な枠組みをつくる。現在の加盟国以外の国や地域からの取組に関しても、この国際ブレイン・イニシアティブへの参加が望まれる。

第一回国際ブレイン・イニシアティブの開催は2018年前半に韓国で予定されている。

この声明は法的拘束力のある文書ではなく、特に国・国際的当局、または組織法人に対する拘束力はない。更なる協議の後に協力体制を公式化する予定である。